

# 令和七年度前期 「宇治学コース」

## ◆受講料

各講座一回 七百元

五枚綴りチケット 二千八百円

《歴史コース》と《宇治学コース》

で使えます

三月～五月の講座日に販売

## ◆定員 先着 200名

## ◆申込み

講座日、会場で受付致します

事前申込み不要

## ◆問合せ

TEL 090・8988・4383

宇治市民大学事務局 丸山

## ◆ご注意

生涯学習センター専用の駐車場はありません

# 宇治市民大学

市民の手による、市民と地域のための大学



会場 宇治市生涯学習センター

## 《テーマ》まなびなおし、宇治

講座時間 午前10時～11時30分

3/29(土)	『源氏物語』が創った宇治 ～歌枕、名所図、そして今～ 宇治市源氏物語ミュージアム館長 家塚 智子さん
4/26(土)	木幡浄妙寺と藤原道長墓 京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター 日本庭園部門長 杉本 宏さん
6/7(土)	陰陽師の平安時代 ～貴族たちの不安解消と招福～ 京都女子大学文学部教授 中島 和歌子さん
6/28(土)	許波多神社の「柳の鞭」 <sup>むち</sup> 伝承 龍谷大学名誉教授 小寺 慶昭 <sup>よしあき</sup> さん
7/19(土)	京街道と伏見 ～交通から見た幕末史～ 佛教大学名誉教授 青山 忠正さん



安倍晴明像（晴明神社境内）

921～1005 平安時代の陰陽師。「晴明」は「せいめい」と音読みする機会が多いが、読み方は確定していない。鎌倉時代から明治時代初めまで陰陽寮を統括した安倍氏流土御門家の祖。官位は従四位下。  
<https://ja.wikipedia.org/> (R6/12/9 撮影)

主催 宇治市民大学運営スタッフ会

共催 宇治市生涯学習センター

宇治市民大学 令和7年度前期講座

## 講師からのひとこと

## 3/29 「『源氏物語』が創った宇治～歌枕、名所図、そして今～」

家塚 智子さん

風光明媚なここ宇治の地は、歴史的にも文学的にも豊かであり、『源氏物語』をはじめ数多くの文学作品の舞台として親しまれています。宇治の情景は、和歌に詠まれ、物語のなかで描写されるだけでなく、名所図として視覚化、絵画化されてきました。文学作品や絵画では、実景とは別に、時として理想化、あるべき姿が描写されることがあります。『源氏物語』の享受の歴史に注目し、人びとは宇治に何を求めたのか、垣間見たいと思います。

## 4/26 「木幡浄妙寺と藤原道長墓」

杉本 宏さん

浄妙寺は、藤原道長が一門の菩提をともらうために建立した寺院である。その跡地は、木幡小学校建設の折に発見され、その後の発掘調査で内容が明らかとなってきた。どの氏族も一門の墓所が確立していない時代、道長は菩提寺の嚆矢ともいえる浄妙寺を建立し、木幡に藤原一門の墓所を確立してゆく。当然、道長自身も木幡に葬られた。講演では、浄妙寺の実像と藤原道長墓の場所について考えてみたい。

## 6/7 「陰陽師の平安時代～貴族たちの不安解消と招福～」 中島 和歌子さん

陰陽師は、本来は職員令に見える官職名ですが、平安時代中期以降は主に職業名になりました。彼らの仕事は、皇族や貴族らを対象とした、うらない、まじない、日時・方角禁忌の指南などです。寛弘元年(一〇〇四)二月十九日、安倍晴明と賀茂光榮が藤原道長と共に木幡に来たのは、うらないの一つの相地(風水)のためでした。本講座では、宇治に関わる具体例も取り上げつつ、平安時代の陰陽師がどのような働きをしていたか、貴族らはその指導の下で何をしていたかについて、お話しいたします。

## 6/28 「許波多神社の『柳の鞭』伝承」

小寺 慶昭さん

天智天皇崩御の寸前(667年)、大津京を抜け出た大海人皇子は、許波多神社の社頭で、馬の鞭としていた柳の枝を刺し、「吾能く本懐を成就せば此柳萌芽して成長す可し」と祈願したという「柳の鞭」の伝承が伝わっています。壬申の乱後、皇子は天武天皇として即位します。この「柳の鞭」伝承の成立時期や成立過程について紹介するとともに、式内社である許波多神社が、木幡と五ヶ庄の二か所に鎮座している「謎」についても考えていきたいと思ひます。

## 7/19 「京街道と伏見～交通から見た幕末史～」

青山 忠正さん

江戸時代、京都と大坂を結ぶ京街道と、それに沿う淀川・宇治川の水運は交通路として、たいへん重要な意味を持ちました。中間の枚方と、京都側の宿駅の伏見には、当時を偲ばせる景観が現在も残ります。幕末の慶応元年(1865)10月、14代将軍家茂が滞在先の大坂城から急に江戸に帰ろうと伏見に向かったことは大きな事件でした。この事件をひとつの例として、当時の交通のあり方を、地域との関わりを踏まえながら考えてみましょう。